

はじめに

この本を手にとってくださったあなたは、何か思うところがあって、「今の生活のままでもいいのかな」と感じている。

あるいは、仕事や家事、子育て、介護などが一段落して、「自分の人生を生きたい」と考えていらつしやるのでしょうか。

それとも、「なんとなく、自分の人生にしっくりこない」「気がついたら思っていたのと違う人生になっている」と感じているなど、人生の岐路に立って、「これから、どうやって生きていこうか」と迷っているところかもしれません。

私自身は、20代のころから、特に夢中になれることがなく、「私の人生、これでいいの？このままでいいの？」とずっと自問自答していました。

「私は何ができて、何をすると幸せになるのだろうか？」と。

進学したときも、就職したときも、そこが自分の居場所ではないような気がして、転職したり、海外へ行ってみたり、趣味の幅を広げたり、いろいろなことをやってみました。

「これだ！」という手ごたえを得られませんでした。結婚して子どもが生まれ、妻や母親という役割を果たしている間は、この思いから離れることができませんでしたが、その後、離婚。

一緒に暮らしていた子どもたちが大きくなり家を出て、私自身が一人暮らしになったとき、再度この問題に直面することになったのです。

「私の人生、これでいいの？ これからは何をすればいいのだろうか？」

ちょうどそのころ、新型コロナウイルス感染症（COVID-19）の影響で自宅にいる時間が増え、オンラインのコミュニティに参加するようになり、マヤ暦のことを初めて知りました。最初は占いかと思いましたが、マヤ暦はエネルギーを表す暦だといいます。それは誰にとっても等しく流れる、260日間のエネルギーを表す暦。

そしてマヤ暦には52年サイクルというものがあり、私たちは52歳で還暦を迎えるそうです。52歳を目前にした私は、「本当かなあ？」と最初は疑いましたが、マヤ暦が表す人生サイクルと、これまでの自分の人生を見比べて愕然としました。マヤ暦の流れと、私の人生の動きがピッタリと連動していたのです。マヤ暦が、こんなに細かく私の人生を表してい

るなんて。自分の人生を俯瞰して見たことも、このときが初めてでした。もっと早くマヤ暦を知っていたら、自分の人生を見通せていたかもしれないのに。

さらに、マヤ暦が示す私の本質や使命、社会での役割が、これまでの私のパツとしなかった行動や性格を明確に言い表していました。あまりにも、一致している部分が多かったのだ、これまで紆余曲折あった私の人生のすべてが腑に落ち、今までの占いや暦にはなかった「納得感」を得られました。そこからマヤ暦に夢中になって学び始めました。

こんな衝撃的な出会いから、マヤ暦アドバイザーとなり、私が感じた「納得感」をみなさんに味わってほしくて、セッションをさせていただくようになりました。私のセッションでは、クライアントの皆さんほぼ全員が、自分を深く知り、「自分について」また「これまでの自分の人生」に対する捉え方を変えて、納得感を抱いていらっしやいます。

ですが、自分の本質を受け入れて、自分の人生に納得するというのは、「これまでの人生に対する捉え方を変えた」ということです。それだけで、人生が変わるというわけではありません。

これからの人生を変えたい、あるいは新しい人生を始めたいと願うなら、ここからさらに「人生そのものに対する捉え方を変える」必要があります。

この本の目的は、私たちの意識に大きな変化をもたらすマヤ暦を気軽に取り入れていただくこと、そしてこれまでの人生に納得し、「人生そのものに対する捉え方」を変えて、これからの人生を自分自身で創り上げていけることを知って実践していただくことです。マヤ暦はいろいろな言葉が出てきて難しいという方もいますが、細かく覚える必要はありません。大事なことは、マヤ暦の流れを体感し、自分の人生が自分の手の中にあると気づくことです。

この本をお読みになったみなさんがマヤ暦を毎日に取り入れて、人生の流れとご自身の無限の可能性に気づき、これからの人生を自分の想いのままに軽やかに歩んでいかれることを願っています。